

2018年度「東京ビジネスデザインアワード」

テーマ9件を発表・デザイナーからのデザイン提案募集開始

都内ものづくり中小企業の優れた「技術」と「素材」が出揃う

東京都が主催し、公益財団法人日本デザイン振興会（会長：川上元美、所在地：東京都港区）が企画・運営を行う「東京ビジネスデザインアワード」は、東京都内の中小企業の持つ技術や素材等をテーマに、新規用途開発とビジネス全体のデザイン提案を募るコンペティションです。

2012年に開始し7回目となる本年度は、本日、都内の中小企業から募集したテーマ全9件を発表、それに対するデザイナーからの提案応募の受付を開始します。募集期間は8月16日（木）から10月25日（木）までです。

【当アワードの特徴】

- ものづくり産業の課題に対して、製品そのもののデザインだけでなく、売り方やサービス、コミュニケーションを含めて「ビジネスモデル」としてのデザインの提案を募集する。これまでにマッチングした企業とデザイナーによる提案実現化事例は10件以上、2016年度優秀賞のウェアラブルメモ「wemo」（※参考資料参照）は、2万点以上を販売するヒット商品となるなど、実績を重ねている。
- 中小企業とデザイナーとのマッチングが成功した事例については、専門家等により構成された審査委員、事務局によるアドバイス（商品開発、知財戦略、デザイン契約、販路開拓）を通じ、事業化・商品化・販路拡大まで継続してサポートし、ビジネスとしての成功につなげることを目的とする。

2018年度 東京ビジネスデザインアワード

- デザイン提案募集期間：2018年8月16日（木）～ 10月25日（木）
- 応募資格：中小企業との協業に意欲のある国内在住の個人またはグループ
- 応募費用：無料 ※ただし提案の制作に伴う実費等は応募者負担
- 賞・賞金：最優秀賞（1点） 賞金100万円
優秀賞（2点） 賞金各20万円
テーマ賞（1テーマにつき1点）
- 主催：東京都
- 企画・運営：公益財団法人日本デザイン振興会

参考：2017年度の最優秀賞



企業からの技術テーマ

あらゆる生地素材にアイロン無しで貼れる「特殊転写技術」（株式会社扶桑・葛飾区）



PATTERN SHEET

さあ、パターンで遊ばせよう！



デザイン提案[最優秀賞]

ユーザーが生地をカスタマイズできるパターンシート
（榎原美歩・株式会社GoodTheWhat）

【デザイナー向け説明会開催】

応募を検討しているデザイナーを対象に、テーマ選定企業9社がプレゼンテーションを実施する説明会を開催します。

日時：9月4日（火）17:00～19:30

会場：インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

（東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F デザインハブ内）

申し込み・問い合わせ：東京ビジネスデザインアワード事務局

E-mail:tokyo-design@jidp.or.jp Tel:03-6743-3777

詳細は東京ビジネスデザインアワード公式サイトをご覧ください。

www.tokyo-design.ne.jp/award.html

※本年度テーマ9件は次頁以降をご覧ください。

※これまでの受賞提案などのビジュアルデータをご用意しています。下記までお問い合わせください。

一般からのお問い合わせ先：東京ビジネスデザインアワード事務局（公益財団法人日本デザイン振興会）

担当：桜井、塚田 E-mail:tokyo-design@jidp.or.jp Tel:03-6743-3777

報道関係のお問い合わせ先：株式会社オズマピーアール

担当：角田、新井、鈴木 E-mail:jdp@ozma.co.jp Tel:03-4531-0214

2018年度 東京ビジネスデザインアワード テーマ概要(9件)

各テーマの詳細は、東京ビジネスデザインアワードの公式サイトをご覧ください。

<https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html>

1 着脱のしやすさと密着強度を兼ね備えた「ファスニング技術」 株式会社エージーリミテッド(港区)



ナイロンの短繊維(パイル)を静電植毛加工して作られた特殊な新素材「Shibaful(シバフル)」。面で着脱できる特性を持ちながら剥離音が小さく、吸着力は弱く剥がすのが容易である反面、横方向の密着強度は相当に高いという特徴を持つ。パイルの長さは2mm、植毛密度は1cm²当たり数千本ある。パイルのカラーとブレンド比率を変えることでカラーは自由に変更できる。

2 “平切子”と“サンドブラスト”を掛け合わせた「特殊硝子加工技術」 GLASS-LAB(江東区)



江戸切子の一種である「平切子」。通常はガラスの口磨きや皿の底面を平らにする技術であるが、線で描く江戸切子と違いガラス等に転用することで様々な仕掛け切子を作ることができる。また、砂をコンプレッサーの圧縮空気で放射する「サンドブラスト」は、0.15mmという極めて細かい彫刻も可能であり、両者の技術を組み合わせることで江戸切子の新たな可能性を切り拓くものである。

3 ワックス(ロウ)のブレンドにこだわった「キャンドル製造技術」 東洋工業株式会社(江東区)



設立当初より原料調達から生産まで国内にこだわり、最高品質のキャンドルを生産。キャンドルの種類によって異なるワックス(ロウ)のブレンド技術を研究し、造形キャンドルからガラスに流し込むアロマキャンドルなど様々なタイプのキャンドルに適したレシピを開発してきた。ワックスのブレンド方法によって、ガラス充填されたアロマキャンドル、造形キャンドル、ジェルキャンドル、ルームフレグランスのアロマワックス、ハーバリウム、非常用安全ローソク、チャペル用テーパーキャンドル、ティーライトキャンドルなどを作ることができる。

4 90%以上を手作業で行う高度な「革小物製造技術」 株式会社石川(江東区)



革小物(財布等)の製造は、職人の手作業によって支えられている。製造工程は大きく4つに分けられ、工程ごとに専門者がいるほど卓越した技術が必要である。革を薄くする工程では、革漉き機で新聞紙を2枚にスライスできるほどの技術が必要とされ、特に紳士財布において革の厚みは商品全体の仕上がりに繋がり0.1mm単位で調整をする。縫製工程においても角の処理など極めて細やかな作業をする。天然皮革の扱いにも繊細さを必要とし、傷やシワなど同じものが2つと無い素材の個体差に対応する技術が要求される。これら全ての工程を社内で賅うことができ、サンプル製造から量産まで対応可能である。

5 多種多様なものづくりを自社内で可能とする「プラスチック加工設備・技術」 株式会社ラヤマパック(葛飾区)



工業用から家庭用まで多彩なものづくりを可能にする設備が充実している。成形材料も数多く取り揃えており、自分のアイデアどおりの製品を具現化可能。日米特許取得の卓上真空成形機V.formerを有し、3DCAD設計チームも充実し、スピード感あるプロトタイプ開発体制が整えられている。PET、PP他、あらゆるプラスチックシート of 材料調達も可能。絵画の立体化、アイデア商品の開発、オリジナル製品制作等、BtoC商品の企画開発に積極的に取り組んでおり、材料の素材選定から製品製造まで社内で完結できる環境が整っている。

6 伝統的な染技法“東京本染(注染)”による「両面染色技術」 東京和晒株式会社(葛飾区)



東京本染(注染)は明治時代に開発された日本独特の染技法で、ゆかたや手ぬぐいなどの小巾綿布を染めるのに用いられてきた。

「両面が等しく染まる」「1枚の型紙で同時に何色も染め分けられる」「ぼかし染めが出来る」などが特徴で、1回で20枚~40枚重ねて染められるので、手染めながら量産が可能な染め技法として定着していて、デザインを手軽に楽しみたい多くのファンとそれを供給するメーカー、店舗に支えられている。

7 透明樹脂素材を立体的かつ本物の金属に見せる「立体視・金属調印刷」 株式会社技光堂(板橋区)



透明樹脂素材に立体感(エンボス調)のある印刷と金属と見間違える程の高精細な金属調(スピンやヘアライン等)の印刷を行う技術を持ち、従来金属で作成していたヘアライン・スピン・バイブレーション・緑青・鏡面・エッチング・エンボス等の様々な処理を印刷で表現することで、金属製ネームプレートからの代替を実現した。素材を変更したことにより、コスト削減、軽量化、薄型化、腐食しない等のメリットがある。この技術で、2017年度板橋製品技術大賞において優秀賞を受賞している。

8 金属の表面にデザインを付加する「彫刻・エッチング技術」 株式会社特殊阿部製版所(江東区)



アルミ・真鍮・ステンレス素材の平面及びR曲面に、彫刻及びエッチングにて、細かい絵柄や文字などをデザインに合わせて加工ができる技術を保有している。彫刻では、CADや3Dスキャンしたデータを元に、マシニングセンタにてアルミや真鍮などの金属素材に対し、平面かつ立体的に切削加工した後、表面を鏡面になるように磨き入れ、自動彫刻機や手動彫刻機にて形状・デザインに合わせて彫刻を施すことができる。エッチングでは、アルミ・真鍮・ステンレス素材の平面以外にも特殊な技法を使用して、立体的に加工することも希少といえる。

9 精油の魅力を引き出す「アロマブレンド技術」 GRASSE TOKYO(グラーストウキョウ)株式会社(江東区)



心地よいと感じる精油(100%天然のエッセンシャルオイル)のブレンド技術を応用した商品開発を目指す。また、成分分析データを活用し、エビデンスに基づいた人体への作用などを考慮した精油化学の観点からも相性を研究中。心と体に働きかけるアロマブレンドの技術を応用し、精油の魅力を多くの方々に知ってもらうための新商品や新事業創出を行って行きたい。

2018年度審査委員



審査委員長
廣田 尚子

プロダクトデザイナー
有限会社ヒロタ
デザインスタジオ
代表



金谷 勉

クリエイティブ
ディレクター
有限会社セメント
プロデュースデザイン
代表取締役



川田 誠一

工学博士
産業技術大学院
大学 学長



澤田 且成

ブランディング
ディレクター
アイディーテンジャ
パン株式会社 代表
取締役社長 CEO



日高 一樹

デザイン・
知的財産権戦略
コンサルタント
日高国際特許事務所
所長/弁理士



南馬越 一義

クリエイティブ
ディレクター
株式会社ビームス
ビームス創造研究所
シニアクリエイティブ
ディレクター

※参考資料:「東京ビジネスデザインアワード」のこれまでの主な提案実現事例

「MASKING COLOR」 2012年度 テーマ賞

大洋塗料株式会社[大田区] × 小関 隆一[RKDS]

乾くと剥がせる保護膜を作るための産業用塗料を、一般向けの「塗って剥がせる水性絵の具」として発売。これまでになかった新感覚の塗料として話題を呼びヒット商品となる。2015年にマスキングカラーPROを発表。 www.maskingcolor.com



「ペンダントライト」 2012年度 テーマ賞

廣田硝子株式会社[墨田区] × 玉置 潤平[Tamaki Design Studio]

大正時代から続く伝統的な硝子成型技法のひとつ「乳白あぶりだし技法」を使った照明器具。受賞後、数年の試行錯誤を経てパナソニックから製品化となった。中小企業が持つ新たな領域へのチャレンジ精神と、デザイナーの持つ提案力が日本を代表するメーカーからの発売に至った事例。 <http://hirota-glass.co.jp/>



「pipegram」 2013年度 最優秀賞・テーマ賞

武州工業株式会社[青梅市] × 小関 隆一[RKDS]

自動車や医療器具などのパイプ部品を製造してきた企業が初めてのBtoC商品にチャレンジ。細い曲げパイプをシリコン部品でつなぎ合わせる事で構造物を作る玩具。緻密な加工技術と多品種少量生産の強みを活かしている。 <http://www.pipegram.com>



「FROM NOWHERE」 2014年度 最優秀賞・テーマ賞

カドミ光学工業株式会社[日野市] × 三浦 秀彦、久保井 武志[クラウドデザイン]

光学ガラスの特徴を活かした無宗教式に祀る「祈りの道具」。少子化や核家族化に伴って墓や仏壇を取り巻く環境が変わる中、現代のライフスタイルにあった新しい供養の様式を提案している。 <http://www.fromnowhere.jp>



「hal+(ハルト)」 2015年度 テーマ賞

株式会社ウキマ[板橋区] × 榎本 大輔、横山 織恵[hitoe]

Ω型の針金を中綴じに用いて吊るす機能を加えた製本加工「アイレット中綴じ」の技術を展開し、吊るす、紐を通すなどの工夫ができる多機能シールとして商品化した。手帳やブックカバー、ポストカードなどに貼ったり、デコレーションにも使える。カスタマイズやDIY嗜好に対応し、ワークショップ等の販促イベントも実施している。 <http://hal-t.com>



「wemo」 2016年度 優秀賞・テーマ賞

株式会社コスモテック[立川市] × 今井 裕平、林 雄三、木村 美智子[kenma inc.]

腕や手にペンで直接書く「手メモ」の問題解決としてウェアラブルメモを開発。バンドタイプとシールタイプの2種類を発表した。看護現場でのリサーチをはじめとして、農作業や高所作業、水産現場など、様々なシーンでの使用展開を提案している。 www.wemo.tokyo

